

「冬の信州省エネ大作戦・2013」について

平成 25 年 11 月 15 日
長野県省エネルギー・自然エネルギー推進本部

県では、しあわせ信州創造プラン～長野県総合5か年計画～において「環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト」を掲げ、節電・省エネルギーの取組を推進しているところ。

また、長野県環境エネルギー戦略～第三次長野県地球温暖化防止県民計画～においても、最大電力の抑制を数値目標（平成 32 年度・▲15%（平成 22 年度比））に掲げ、未来志向型のライフスタイル、ビジネススタイルへの転換を進めているところ。

こうしたことから、長野県独自の数値目標を掲げた節電・省エネルギーの県民運動「信州省エネ大作戦」を展開し、県民総ぐるみでの取組を推進する。

- ・最低限必要とされる予備率(3%)は確保される見通し
- ・節電の定着分(▲2.3%・H22 年度比)を織り込んだ需要値
- ・発電所トラブル等により電力需給ひっ迫の可能性も

1 今冬の電力需給の見通し

<平成26年1月の電力需給見通し>

(単位: 万kW)

項目	東3社	北海道	東北	東京	中部及び西日本	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	9電力	沖縄
供給力	7,565	607	1,542	5,416	8,958	2,485	2,654	548	1,148	539	1,584	16,523	203
最大電力需要	6,877	563	1,394	4,920	8,544	2,355	2,576	519	1,052	506	1,536	15,421	116
供給－需要	688	44	148	496	414	130	78	29	96	33	48	1,102	87
(予備率)	10.0%	7.7%	10.6%	10.1%	4.8%	5.5%	3.0%	5.6%	9.1%	6.6%	3.1%	7.1%	75.3%

2 長野県の節電・省エネ目標

最大電力 ▲5% (H22 年度比)

国からは数値目標の設定はないが、節電の構造的な定着を目指して長野県独自に数値目標を設定

県機関：最大電力 ▲7% (H22 年度比)

- ・昨冬の県目標は▲3%
- ・昨冬の長野県内実績は▲7.2%
- ・昨冬の中部電力管内実績は▲3.6%

- ・昨冬の目標は▲5%
- ・昨冬の実績は▲10.9%
(県庁舎：▲8.6%、合同庁舎：▲12.9%)

しあわせ信州創造プラン及び長野県環境エネルギー戦略に掲げる数値目標の達成に向けた前向きな取組を推進

3 取組期間

➤ 12月1日～3月31日

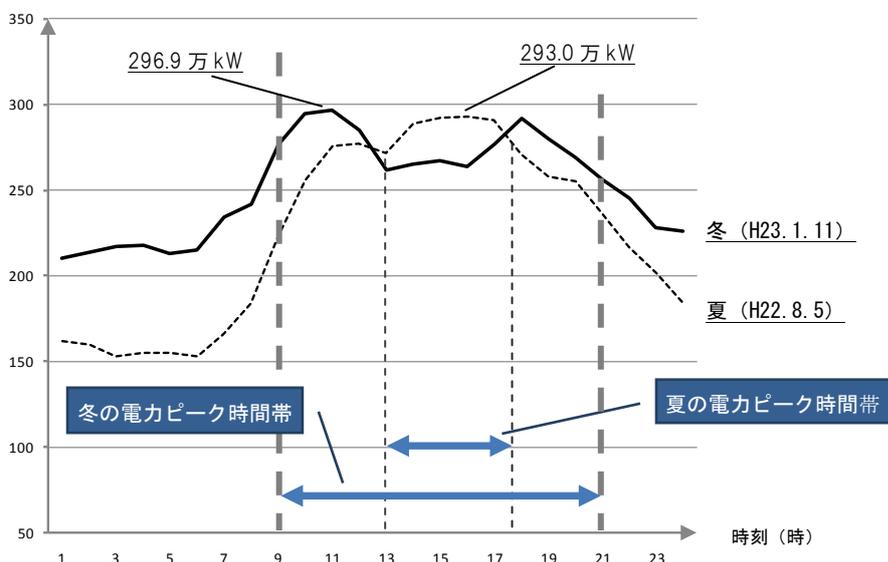
4 取組方針

- 県民生活や経済活動に影響を及ぼさない、無理のない範囲での県民運動の展開
- ピーク時間帯における最大電力の抑制を中心に呼びかけ
- 未来志向型のライフ・ビジネススタイルへの転換につながる、前向きな節電・省エネ対策
- 経費の削減や地域経済の活性化、生活の質の向上に資するよう配慮
- 市町村、経済団体、消費者団体、マスコミ等、県内関係機関との連携・協働
- カット（減らす）・シフト（ずらす）・チェンジ（切り替える）の推進

5 主な取組内容

取組主体	取 組 内 容
全 般	<p>㊦《信州あったかシェアプロジェクト》（地域経済の活性化、ピークシフト）</p> <p>ピーク時間帯を中心に、家庭の暖房器具を止めて、身近にある元々あったかい場所（図書館等の公共施設、スーパーや飲食店等の商業施設、温泉施設等＝信州あったかシェアスポット）や、みんなで楽しめる行事等（雪まつり、まちバルイベント等＝信州あったかシェアイベント）への外出を促し、社会全体としての電力需要を削減するとともに、地域経済の活性化を図る。</p>
家 庭	<p>㊦《節電・省エネアクションメニューによる取組》</p> <p>信州あったかシェアへのお出掛け、家庭の省エネサポート制度の活用、照明器具や家電製品等の省エネ型への買い替え など</p> <p>㊦《家庭の省エネサポート制度》（ライフスタイルの転換、経費削減）</p> <p>電気・ガスなどの民間事業者が県民と接する機会を活用して、省エネアドバイスや省エネの簡易診断を実施する。</p>
事 業 者	<p>㊦《節電・省エネアクションメニューによる取組》</p> <p>デマンド監視装置の導入・活用による電力の「見える化」、室温 19℃を目安にウォームビズのひと工夫、省エネ型設備への更新 など</p> <p>《信州省エネパートナー》（ビジネススタイルの転換、経費削減）</p> <p>事業者の主体的な節電・省エネルギーの取組を促すため、具体的な取組を行う事業者を「信州省エネパートナー」として登録。その取組内容を県ホームページ等でPRし、節電・省エネルギーの取組に向けた連携を広げる。</p> <p>《省エネセミナーの開催》（ビジネススタイルの転換、経費削減）</p> <p>省エネ対策を進める上でのポイント解説や先進的取組事例などの紹介を行う。</p>
県 機 関	<p>《長野県職員率先実行計画に基づく取組》</p> <p>㊦《節電・省エネアクションメニューによる取組》</p> <p>適正な暖房運転（室温 19℃）とWARMBIZスタイルの推進、不要な照明の消灯徹底、パソコンディスプレイの適切な明るさ設定 など</p> <p>㊦《WARMBIZスタイルの推進》（ビジネススタイルの転換）</p> <p>適正暖房の徹底とそれにふさわしい服装や身体を暖める工夫の推奨。</p> <p>《エコマネジメント長野の運用》</p> <p>環境マネジメントシステムの着実な運用を通じた節電・省エネルギーの推進</p>

電力需要（万kW） 【長野県内における電力需要状況】



冬季は、暖房器具の使用が増えることや、また、日照時間が短く照明器具を使用する時間が長いことから、夏季に比べて、一日の中で電力需要が大きい時間帯が長いという特徴がある。

この中で、朝方 9 時～11 時と夕方・夜間の 17 時～19 時の二つの電力需要のピークがあり、この時間帯における節電・省エネが重要。